

研究者向け

研究の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対するチェックリスト

【全般的な事項】

- 外国の機関・大学等との共同研究や交流等に伴う各種リスク（利益相反・責務相反のリスク、技術流出・情報流出のリスク、信頼低下のリスク等）に留意するとともに、リスクが懸念される場合には、所属機関の担当部署に相談等を行っていますか？

- 研究活動の透明性の確保に係る情報（職歴・研究経歴、現在の全ての所属機関・役職、外部機関から受けている各種の支援）について、所属機関の規程等に基づき、担当部署に適切な報告等を行っていますか？

【共同研究等の手続に関する事項】

- 外国の機関・大学等との連携・契約において覚書等の書面を交わす際、所属機関の規程等に基づき担当部署に確認や判断を求めるなど、適切な手続を経ていますか？

- 外国の機関・大学等から補助金や助成金・報酬・物品の提供を受ける際、所属機関に報告等を行っていますか？

- 特定の外国に長期の出張や高頻度な出張を行う際、必要に応じて所属機関の担当部署に報告等していますか？

- 外国の機関・大学等との共同研究の過程において、我が国の安全保障や経済・社会に悪影響を及ぼす等の共同研究の目的外使用をされるリスクがあり得ることに留意し、技術情報を提供する際の事前確認や技術情報の管理を適切に行っていますか？

【共同研究等の相手方に関する事項】

- 外国の機関・大学等と連携・契約する際、その組織や相手方の参加メンバーについての情報、連携・契約の目的を確認していますか？